

授業科目 公衆衛生学Ⅰ				科目コード番号
【担当教員名】 遠藤 和男	対象学年	2	対象学科	栄養のみ
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30
【概要及び学習目標】				
<p>&lt;概略&gt;</p> <p>他学科では選択であるが、管理栄養士の国家試験科目でもあるため、健康栄養学科では「公衆衛生学Ⅰ」が必修科目となっている。また、関連科目として「公衆栄養学」及び「同実習」がある。実習に必要な指標及び方法論については、主として「医療統計学」及び「同実習」で修得する。ただし、公衆衛生学でも基礎的な概念を学習する。</p> <p>&lt;学習目標&gt;</p> <p>一般目標：公衆栄養学及び同実習の基礎ともなる疫学的な概念と方法論を修得するため、人生の各段階における宿主要因、環境要因及び疾病の予防対策について理解する。</p> <p>行動目標：1. 公衆衛生の定義を説明できる。 2. 主要な疾病について宿主要因と環境要因とを区別できる。 3. 疫学的な方法を適用できる。</p>				
回数	学習の主題	学習内容		学習方法
1	公衆衛生の定義と歴史	公衆衛生の定義と諸外国及び日本における歴史について学ぶ。		講義
2	人口問題と衛生統計	日本の人口構成の変化及び人口動態統計における諸率について学ぶ。		同上
3	疫学概念と記述疫学	疫学概念と記述疫学的な手法について学ぶ。		同上
4	分析疫学の指標と評価方法	分析疫学で用いる各指標とその評価方法について学ぶ。		同上
5	衛生行政と国際保健	保健所と市町村の役割分担、世界保健機関と国際問題について学ぶ。		同上
6	母子保健と学校保健	少子化の中でエンジェルプランの内容や学校保健の問題点を学ぶ。		同上
7	成人保健Ⅰ	結核やエイズ、その他の感染症の流行要因とその予防対策を学ぶ。		同上
8	成人保健Ⅱ	脳卒中及び心臓病を中心とした関連疾患の原因と予防方法を学ぶ。		同上
9	成人保健Ⅲ	がんや糖尿病、骨粗鬆症などの原因と予防方法について学ぶ。		同上
10	老人保健	これまでもいろいろな講義で触れられてきた老人保健問題を復習する。		同上
11	環境保健Ⅰ	衣服、温熱、住居環境など日常生活環境について学ぶ。		同上
12	環境保健Ⅱ	地球環境の悪化と大気汚染や悪臭その他の公害問題について学ぶ。		同上
13	環境保健Ⅲ	水質汚濁や騒音・振動などの公害問題と健康被害に対する補償を学ぶ。		同上
14	労働衛生と産業保健	労働者に多い疾患作業管理、作業環境管理、健康管理の方法を学ぶ。		同上
【評価方法】 国家試験の過去問から選択して出題するが、一部新作問題を加えるかも知れない。				
【履修上の留意点】 関連科目と内容について調整済みであるが、重要な項目については、重複を承知の上で教える場合があり、講義の中でも重複であることを指摘する。				

【使用図書】				
教科書・参考書等	書名等	著者名	発行所	発行年・価格・その他
教科書	スタンダード公衆衛生学	田中平三編集 遠藤和男分担	文光堂	2002年2月発行予定 ¥5800+税
参考書				
その他 (プリント等)	毎回レジュメを配布する予定である。			